



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
RIテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ「会員の健康と地域リーダーの育成、
そしてロータリーの基本、規律を大切に」

会長 米山晴敏 幹事 仲原実圭

第1499回例会 2022.5.13(金)雨

司会：田村康晃君
ロータリーソング「我等の生業」 指揮：原兄多君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 米山晴敏君



10日から昨日まで熊本に行ってきた。連休明けならば空いているのかな？と思っていましたが、大混雑をしていました。旅行目的はゴルフと熊本城復興状況の視察ともう1つの、3つの目的で行ってきました。

着いた日に熊本城の天守閣6階まで歩いて登り、加藤清正の築城から歴史、熊本地震での崩壊、再建途中までの写真、ビデオを2時間かけて見て回りました。身体は疲れましたが、感動と感銘を受けました。翌日のゴルフは雨予報でしたが、ゴルフ場に着いたら奇跡的に雨はピタッと止みました。日射病になりそうな暑さでした。

翌々日は梅雨前線で豪雨の予報でした。雨の中カッパを買って、ゴルフ場に着いたら、雨は上がり、他のお客さんはキャンセルしていて我々以外は1組しかいませんでした。キャディーさんが奇跡ですね、と熊本弁で『雨だけん、全部キャンセルだけん、お客さん達、すぎやーね、よかったばい。』と言われ、昼からは日焼けクリームを塗ってプレーしました。熊本のキャディーさんは優しく、面白く、良いスコアで回ることが出来ました。

もう一つの目的は、熊本城の西側にある慈恵病院の『このとりのゆりかご』です。着いた日の5月10日が、ゆりかごが出来て15周年の日でした。ここに預けられた赤ちゃんは15年で159名です。最初に預けられた宮〇コ〇イ〇さんは、里親に育てられ、里親の愛情に感謝し、今は学生ですが、同じような環境の子供達のために、慈恵病院内の週1回のエンゼル子ども食堂を手伝っているそうです。

慈恵病院のこのとりのゆりかごのモデルは、ドイツのベビークラッペを参考にしたようです。ベビークラッペに置かれる赤ちゃんを、入院か、里親か、養子縁組にするかだけでなく、『妊婦の葛藤相談所で、社会的支援の助言や、匿名出産は自宅ではなく施設での安全な出産を勧める、マザーチャイルドハウスで8週間生活し、その間に自分で育てるか、養子に出すか決めていそう。現在は全てが家庭で育てているそうです。慈恵病院では『SOS赤ちゃんとお母さんの妊娠相談』で24時間電話やメールなどでさまざまな相談を受けています。

ゆりかごに預けられる赤ちゃんは生活困窮者が多く、次は離婚、孤立出産だそう。追い込まれるのは母親、追い込んで逃げるのが男性だそう。

出自が判明しているのは7割、出自を求めると母親は連絡がなくなり、最悪は死を選択することもあるそうです。逆に子供は出自を求めよう。出自は親子で真逆のため、関係者は大変気をつかうそうです。

このとりのゆりかご基金には大庭靖貴君と伊豆中央RCの土屋雄三君が寄付をしてくれました。ありがとうございました。

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	11/29	38.00%	24/29	82.80%
今回	21/29	72.40%	会員総数	32名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、大庭君、大村君、小島君、篠木君、土屋(和)君、土屋(巧)君、山口(雅)君

(*出席免除会員の欠席者 片野君、中村君、山本君)

幹事報告

仲原実圭君

①5月21, 22日両日、2021-22年度の地区大会が山梨県で開催されます。

22日参加の小林副会長、野村さん、土屋さん、高橋さんは当日お気をつけてお越しください。会長、幹事は前日より山梨入りしています。

地区研修・協議会報告

次年度会長 小林勝君

2022年-23年度、国際ロータリー会長はカナダ出身のジェニファー・ジョーンズさんという女性の会長です。職業はウィンザー大学の理事長です。そして新会長のテーマは「イマジン・ロータリー」だそうです。

イマジン？ジョン・レノンしか思い浮かばなかったのは私だけでしょか。直訳すると「想像する」だそうです。新会長は何を想像しているのでしょうか？

イマジンの次に印象的だったのは「ダイバシティー」と「インクルージョン」です。

ダイバシティーは多様性、インクルージョンは個性を認め、一体感のある行動です。

世界120万人の会員個々の多様性を認め合い、ロータリーの理想である やさしさ、希望、愛、平和に向かって行動する仲間を想像しているのではないのでしょうか。

次年度幹事 杉山順一君

ZOOMによる地区協議会でしたがまだまだ不慣れなさが目立った地区協議会でした。

パソコン画面では必要の無いところで関係のない共有画面が流れてしまうアクシデントなどがありました。次年度がスタートする上で皆様がZOOMに慣れていく必要性を強く感じた地区協議会に感じました。

クラブ奉仕委員会 岡 良森君

次年度地区研修協議会にオンライン出席しました。ズーム初体験ではありましたが特に問題なく参加できました。

次年度RI会長はイマジンロータリーを提唱しています。想像するということは過去ではなく未来を意味します。我々が行っている奉仕活動の先に見える景色を少し想像する。同じ目的を持って活動した仲間の満足感をちょっと想像してみる。暗いニュースが続く昨今ではありますが、想像力豊かに活動したいものです。

当クラブには各種委員会があります。クラブ奉仕委員長として盛り上げていきます。

RLI部会 仲原実圭君

4月24日日曜日、2022-23年度の地区研修協議会が行われ、RLI委員会の全体会議に参加しました。RLIとはロータリーリーダーシップ研修会の略で、日本では29の地区が導入をし、世界では410以上の地区が参加している啓蒙活動です。

RLIの目的は、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を通して、ロータリーを活性化することであり、特定のリーダーを育成する事ではなく、一人ひとりのリーダーシップを育むことでクラブが活性化することを目標としています。

RLIではクラブを超えた出会い、つながり、ロータリー観の交換や確立、認識の共有による表現力、アウトプットスキルの向上等の効能を得ることが出来ると思います。

ロータリーへの入会間もない方から在籍年数の多い方、先ずは参加をしてみて、ロータリーの枠組みを再度確認してみてください。

会員増強部会 藤川智徳君

当日、オンライン研修にて参加いたしました。

研修での個人的な感想を言いますと次年度もかなりやるべきことが沢山あるなあと感じます。ここ数年で国際ロータリーの指針としては「会員数拡大」と「奉仕活動の充実」を特に謳っている気がします。

たとえば次年度では「ロータリー賞」という課題を設け25の細かな目標の内13以上を達成し報告するというものがあります。詳細については自分が述べるべきものではないので割愛しますが、現在、様々な問題で世界が疲弊している時だからこそ奉仕活動に特化したロータリーが、お互いに協力し熱意を持って動き出している。と、そう感じた研修でした。

未来3035委員会 田村康晃君

地区研修協議会に初めて参加させて頂きました。

プログラム委員の代理？なのか分かりませんが？多くの方々が参加しズームにて資料等を準備して丁寧なご説明があり、地区役員の方々の努力を感じました。

本来ならば内容のある程度理解してから参加すれば良かったと思いました。

当クラブの運営に少しでも役立てたいと思います。

新会員部会 高橋大輔君

地区研修全体会議と新会員の分科会に野村さんと参加させて頂きました。入会してもう直ぐ一年が経ちますが、ロータリーのことがほとんど分かっていない状態です。2620地区が静岡県と山梨県からなると今回分かった次第です。

新会員の分科会では、ロータリーという奉仕と親睦とはどのようなものなのか説明して頂きました。以前会長から新会員に頂いた、ロータリーの手引きの内容理解が深まったように思います。

今後この様なロータリーの基本的な説明を受ける機会は少ないと思いますが、皆さんにお会いした時に目と耳で感じたことから、少しでも多くのことを吸収していきたいと思っております。研修会参加させて頂きまして、ありがとうございます。



スマイルボックス

原兄多君：無事に退院しました。ありがとうございます。今月いっぱい外食禁止ですので、食事前に帰らせて頂き、来月からフル出席したいと思います。

高橋大輔君：先ほど3回目のワクチン接種してきました。前回は副反応で辛かったので憂鬱な気持ちで接種会場に行きましたが、そこで山口雅弘さんにお会いし、待ち時間が楽しいものとなりました。御本人は用心して例会欠席するそうです。

鈴木俊也君：静岡県指定整備工場会の会議の為早退します。